



日本共産党  
岩国市議団  
岩国市山手町  
4丁目3-5  
電話  
22-2245  
FZX  
24-2735

# 基地被害の軽減と地域経済の振興策について 小川安士議員の代表質問



## 基地被害の軽減策強化をはか

基地被害の軽減策の強化に関し、小川議員は、先ず飛行コースや高度について、どのように規制が定められているのか質しました。

執行部は、日米協議会の確認事項として「安全上許す限り市街地上空を飛行しない」「市街地上空の飛行高度は1220m」の項目があり、遵守するよう求めていると答弁しました。

小川議員が「安全上許す限りとはどういう状況か」を質したところ、悪天候や機体トラブルなどの状況が示されました。

実態では協議会の確認事項は守られていないのではないのでしょうか。

また、苦情の多かった時の飛行実態はどのような状況だったのかを質すと、年間平均の2倍から4倍に達するような飛行回数の多さと、夜間飛行の多さが原因との判断が示されました。

小川議員は、飛行状



況の観察を強化して飛行コースや高度を資料にまとめて、騒音被害の実態を多くの人に伝えて、米軍機の飛行規制の強化を図るよう求めました。

## 地域振興策の強化を

岩国市の自主財源比率は上昇してほぼ3年前の水準です。

しかし内容を見ると市税は合併当時の90%で、財源の依存体質は、改善されていません。

ただ、目的別歳出を類似団体と比較すると最近では商工予算が一定の水準を確保しています。

小川議員は、今後の成果を期待しながら見守るという視点から、中小企業振興方策について質しました。

## 店舗リニューアルの対象を拡大せよ



岩国市で従業員数が最も多い産業は、卸・小売業で約1万3百人、構成比率は17.2%、

次が医療・福祉で1万2百人、17%、3番目が製造業で9千人、15%です。

小売業の店舗リニューアル補助を中心部商店街に限定せず、市内全域に拡充するべきなのか質しました。

商店リニューアル助成事業」を市内全域に実施する事について、「目的と効果が最大限発揮出来るような事業を検討していきたい」と答えました。

引き続き実現を求めて行きます。

## 「普天間基地移設の見通しについて 今後も国の動向を注視する、これまでの方針に変わりない」と答弁

大西議員は、2月24日に行われた辺野古新基地建設の賛否を問う沖縄県民投票は、「建設反対」が圧倒的多数で、民主主義と地方自治を守る良識が示されたものと思うと主張。

辺野古新基地は不可能

しかし、安倍首相は「県民投票の結果は真摯に受け止める」と言いながら、これ以上先送りできないと新基地建設をすすめる」と明言。このことは絶対に許されないことだと厳しく批判しました。

新聞報道等では、大浦湾側の軟弱地盤の深さが最深部で90m、7万7千本の砂杭を打つ必要がある。



国内ではその深さに達する作業船が存在しないし、海外でも工事実績はない。

デニー知事が政府の設計変更を承認しない」と表明している等を指摘し、新基地建設は技術的にも政治的にも不可能としている。

市の基本スタンスは、

「普天間基地移設の見通しが立たないうちには空母艦載機の移駐のみを切り離してすすめることは認められない」としているが、市長は今の状況でも普天間基地の移設がされるか、思っているのか、思っているのか、思っているのか、思っているのかを見通しているのかを尋ねました。(2面に続く)

# 昭和、町藤生線、高齢者の交通手段の確保、教職員の働き方改革について

## 長岡辰久議員の一般質問

長岡辰久議員は、一般質問で、①昭和町藤生線について ②高齢者の交通手段の確保について ③教職員の働き方改革について、質問しました。

### 昭和町藤生線について

昭和町藤生線は、昭和15年新港尾津線として計画され、平成20年に岩国基地正門まで供用開始されています。沖合移設により岩国基地は、825haにも拡張されたが、昭和町藤生線開通のため必要不可欠か5haの返還も実現していません。



市長は、この3月議会の本会議で昭和町藤生線について「昭和町藤生線を整備するには、共同使用を含めた土地の返還が必要と考えて

### 高齢者の交通手段の確保を

高齢者の交通手段の確保については、特に市街地近郊の丘陵地などに開発された住宅団地の声、とりわけ住民の要望の高「コミュ



ニティバス「くるりん」「さくら」の復活について要求しました。市は、「他の公共交通機関との関係や運転手不足もあり、コミュニティバスの復活は困難である」と回答。また、長寿支援タクシー料金助成事業については、「課題も寄せられているので検討していきます」と回答しました。

### 教職員の働き方改革

今のままでは4月から始まる働き方改革に抵触する教職員が、中学校は全てが、小学校もほとんどです。その対策について質問しました。教育長は、「教職員の労務管理・働き方についての責任は市教委にある」と回答しましたが、文科省も見直しを求めている小中学校授業時数の大幅増が、勤務時間の増加の原因であることには触れませんでした。

### 大西議員一般質問の続き

市長は、「普天間移設について国の動向を注視する。方針は変わらない」と、国いなしの姿勢をあらわにしました。

### 市街地上空の飛行増加を黙認

艦載機の移駐以後、特に市街地上空の飛行が増え、この点について把握しているのか。また、編隊飛行の機数削減、時間外運用をしない、市街地上空を飛ばない等の具体的な軽減策は申し入れしているのかと質問。

### 中央公民館に子どもの居場所を要望

市は「公民館建替えの基本計画策定に当たり、子どもが憩える居場所づくりも含め検討したい」と答弁しました。

## 平成31年度一般会計予算に対する日本共産党の反対討論概要

日本共産党市議団は、3月議会に上程された

議案の内、一般会計当初予算及び、その他の議案の内、消費税増税を早々と容認している議案に対して反対し、3名の議員が分担して反対討論しました。米軍機の民家上空の飛行実態の観察記録をまとめ使える資料にし、飛行規制や地位協定の

改定を求めよう主張しました。

また米軍機の事故数は飛行中止を求めた2年前より深刻なのに、今回は基地との共存路線に基づいて、訓練を中止して安全確認をすよう求めています。そのような姿勢では岩国市の全面的な発展と豊かな成長は導けないと指摘し、市長の毅然とした対応を求めました。

また消費税は小規模事業所や低所得者ほど負担が大きいので、消費税に頼らない税制への改革を求め、せめて税率引き上げ回避に尽力するべきだと指摘して、増税を容認した予算案に反対しました。

### 錦帯橋資料館について

市は、①錦帯橋資料館と一体となる地域の憩いの場、交流を育む

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください

- 大西明子 090-7377-2089
- 小川安士 090-7993-5136
- 長岡辰久 090-4140-9396